

会 議 録

会 議 名	平成28年度第1回七尾市健康福祉審議会
開 催 日 時	平成28年7月7日（木）15：00～16：30
場 所	七尾サンライフプラザ第24会議室
出 席 者	板谷・岡田・奥井・狩山・川島・鷹合・西野・廣澤・南・森・山崎各委員（11名） （欠席4名：荒巻・神野・櫻井・深浦各委員） 津田健康福祉部長、中川健康福祉政策室長、新野・上谷・佐藤各課長、 松崎・関森・土倉・堀口・濱・高瀬各補佐、赤岩主幹・小原専門員
配 布 資 料	事前資料：第1回七尾市健康福祉審議会次第資料（当日持参） 当日資料：附属資料、各分科会名簿、七尾市地域福祉活動計画（改定版）
内容【要旨】	
<p>1. 開 会 （事務局）新任委員及び事務局の紹介</p> <p>2. 開会のあいさつ （委員長） 本年度は計画等の改正はない。健康福祉に関する全体の在り方について審議させていただく。市は、計画に基づき福祉事業を推進していただいております。各委員会及び各分科会ではそれについてご審議いただいております。本日は忌憚のない意見をいただき、七尾市の健康福祉の推進にご協力をよろしく願います。</p> <p>3. 副委員長の選任について （委員長） 七尾市社会福祉協議会前会長尾田光生委員の退任に伴い、副委員長が不在となった。七尾市健康福祉審議会規則第5条第1項の規定により、副委員長は委員長が指名することとなっている。副委員長には、奥井敦士委員を指名する。奥井副委員長より、一言挨拶をお願いしたい。 （副委員長） 福祉の福と祉は、何れも幸福、幸せを意味する言葉である。そうであるとすれば、この審議会は健康で充足し安定した生活を送るために、市長が諮問する健康福祉の計画策定や進捗管理をする大変重要な審議会であると思う。南委員長の下、委員の皆様のご協力をいただきながら、副委員長を務めたい。</p> <p>4. 説明・報告事項 （1）七尾市健康福祉審議会及び各分科会について （健康福祉政策室長）【事前資料にて説明】 ①健康福祉審議会について ・諸計画の策定・進行管理、保健福祉に関する重要事項について調査、審議、評価を行う。 ・市長の諮問機関として設置されている。 ・任期は3年、今年度開催予定は、審議会は2回程度、分科会は必要に応じて開催させていただく。 ②各分科会について ・各分科会における諸計画及び分野ごとの重要事項に関する審議及び進捗管理を行う。</p> <p>（2）七尾市健康福祉審議会について （健康福祉政策室長）【事前資料・当日資料にて説明】 ・審議会の目的は、社会福祉に関する重要事項を総合的な観点から審議を行うものである。</p>	

- ・今年度、計画の策定はない予定である。
- ・計画の進行管理において、1 地域福祉計画、2 老人福祉計画・介護保険事業計画、3 障害者計画・障害福祉計画、4 子ども・子育て支援事業計画、5 健康増進計画がある。
2と3は、平成29年度に終期を迎えることから、来年度は計画策定が中心となる。

(委員長)

質問はないか。(特になし)

(3)七尾市健康福祉審議会各分科会について

①地域福祉分科会について

(健康福祉政策室長)【事前資料P5～7にて説明】

②高齢者福祉分科会について

(保険課長)【事前資料P8～9にて説明】

③障害者福祉分科会について

(健康福祉政策室長)【事前資料P10～11にて説明】

④児童福祉分科会について

(子育て支援課長)【事前資料P12～13にて説明】

⑤保健医療分科会について

(健康推進課長)【事前資料P14～15にて説明】

(4)七尾市健康福祉審議会平成28年度スケジュールについて

(健康福祉政策室長)【事前資料P16にて説明】

今年度は、本日の第1回目を含め2回開催を予定しており、第2回目を2月に予定している。
地域福祉分科会、高齢者福祉分科会、障害者福祉分科会、保健医療分科会も2回開催予定であり、児童福祉分科会は3回開催の予定である。

5. 質疑応答

(委員長)

委員の皆さんから、質問ご意見はないか。

(委員)

・生活支援にかかる協議体の設置について

① 協議体の設置に向けて、どのように何をしているかがよく見えない。

また、いつからスタートしたのか、あるいはしているのか。

② 拠点はどこなのか。

③ 民生児童委員定例会での話で、地域づくり協議体内の福祉部会の中で、協議会を設けるよう謳ってある、ということだった。15地区社会福祉協議会内ではこのような話は出ていないがどうなのか。

(健康福祉政策室長、事務局)

① 今年度は七尾市全域での第1層協議体の設置を行う。市社会福祉協議会に委託しコーディネーターを1名配置した。来年度については生活圏域、或いは15地区など未定だが、複数の地域に密着した協議体を設置していく予定である。在宅での支援が必要な人の生活、高齢者

の家事援助など、地域でどうしていくのかはこれから検討していく。養成したボランティアの活用や在宅の方の生活支援をしていく仕組みづくりについても今後協議を進めていきたい。手のかかるものについては、少し財源を考えたい。

- ② 協議体はあくまで地域づくりを話し合う場として考えていただきたい。地区ごとに設置した方がいいのかも含めて、まずは七尾全体でどこにどういう風にして協議体を設置するのかということを含めて審議していきたいと考えている。
- ③ 七尾市としては平成29年度に地域で複数の協議体を設置していきたいと考えている。単位のイメージとしては、15地区の地域づくり協議会福祉部会を一つの想定されている協議体の単位として考えている。その事が適切かどうか、社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会であるか等は今後協議を進めていく中で確認させていただきたい。福祉部会と重なって、協議体へ移行していきたいと考えている。民生委員児童委員協議会定例会で申し上げていたとすれば、そういう考え方もあるという話で受け止めていただければと思う。平成28年度は七尾市全体の協議体を設置し、29年度は出来れば15地区で協議体を設置することを検討していく。その母体になるものも含めて今後相談させていただきたいと考えている。

(委員)

- ① 崎山地区において、支え合いマップづくり事業において福祉と防災の区別はどのようにしたらいいか。両方を兼ねた福祉マップを作りたいと考えている。
- ② 市社会福祉協議会では、支え合いと防災は別だということをやっていたが、同じで構わないのか。

(事務局)

- ① マップ作成の段階では、福祉という視点、防災という視点から作成や行動計画を立てている。
- ② 市民の皆様が目線で見たとき、二つ一緒なものだという解釈をしていただいて構わない。

(委員)

七尾市健康福祉審議会平成28年度スケジュールについて、昨年度の児童福祉分科会では、計画案では2回開催予定であったが実際は1回での報告であった。計画通りではなかったため、今年度は他の分科会より開催が多いこともあり計画通り進めていただきたい。

(委員長)

では、よろしくお願ひしたい。

(委員)

保健医療分科会資料P15中、1.健康増進計画の進捗に関する事項(2)健診後の保健指導の充実強化において、糖尿病重症化予防のための保健指導の実施と医療機関との連携はどのようなものか、解る範囲で説明していただきたい。

(健康推進課長)

糖尿病発生のメカニズムは、食事や運動不足が原因である。今年度は特に、糖尿病の重症化が進むと透析患者増え、年間500万ほどかかる。それを抑えるには最初の段階で重症化を防ぐため、運動や食事それぞれの面から健康まちづくり推進員とサポートしていきたいと考えている。

6. その他

(委員長)

その他、委員の皆様からのご意見ご質問等はないか。(特になし)

7. 閉会のあいさつ

(委員長)

委員の皆様からの意見・質問等もあり、意義のある審議会であった。

(事務局)

・審議会の開催について

資料の年間スケジュールでは次回審議会は2月になっている。また、委員からご指摘のあった通り、分科会もしっかりと開催させていただきたいと思う。2月の開催については各分科会の進行状況等を委員長と確認しながら開催日のご案内をさせていただきたくよろしくお願い申し上げます。

8. 閉 会